

桐蔭学園小学部

【理事長】平岩 敬一

【校長】澤本 敦

〒225-8502 神奈川県横浜市青葉区鉄町 1614 TEL 045-972-2221(直通) <http://toin.ac.jp/ele/>

【交通】東急田園都市線市が尾駅・青葉台駅・あざみ野駅、小田急線柿生駅よりバス（スクールバス発着 江田駅、柿生駅）

心の通った 英才教育をめざして

「まこと」をつくり「強い意志」を養う

校訓：すべてのことに「まこと」をつくそう

最後までやり抜く「強い意志」を養おう

教育理念：「能力とは努力の成果である」⇒「育て、伸ばし、鍛える」

「自ら考え、判断し、行動できる子どもたち」を育てる

今後、世界はグローバル化が進み、人類の未来のために何ができるのかという視点で考え、行動することがますます求められるようになります。

桐蔭学園は、2014年に創立50周年を迎えました。この間、「育て、伸ばし、鍛える」ことで世界に貢献できる人材を育成してきました。この50周年を機に、新しい時代を見据えたさらなる進化を目指し、幼・小・中・高一貫教育をさらに徹底する取り組みを始めています。

中学校（男女）、中等教育学校（男子）との一貫性ある授業計画

国語・算数・英語●授業時数をたっぷりとり、基礎事項・重要事項をしっかりと身につけさせます。5・6年では習熟度別レッスン授業を導入し、学習内容の精選を行って、中学・中等教育学校との系統性を図っています。

科学●実験・観察を中心とした内容で、3～6年で行う理科教育です。

総合●教科の枠にとらわれず、児童が主体的に学習していく場です。分からないことをどのように調べるか、自分の考えが妥当かどうか、どう吟味したらよいか等の応用力・判断力を養います。

英語●全学年、英語が正式教科になっており、週2時間行っています。低学年では歌、ゲームを中心に、高学年ではヒアリング、初歩の文法を学び中学へとつなげます。5・6年では中等教育学校の先生による授業もあります。全学年でネイティブによる授業を導入しています。

コンピューター●1年から基本的な操作を学びます。Windowsを使用し、独自のソフト作成、電子メールによる情報交換、インターネットの活用や、LEGO ロボットを使った制御プログラム学習にも力を入れています。6年では、卒業制作としてオリジナルのホームページ作りを行います。

上級学校に進むには

一貫教育を実施しており、全員が上級学校に進学できるシステムをとっています。

「自ら考え判断し行動できる子どもたち」の育成

理事長 平岩 敬一

幼稚園・小学部の教育においては、基礎学力の定着と体力の向上だけでなく、多種多様な学校行事を通じて感性を養いつつ、アクティブラーニング型授業を取り入れ、協調性やコミュニケーション能力、責任感、企画力、そしてリーダーシップを養います。

桐蔭学園では、現代社会が求める能力の基礎を培いながら、真の「生き抜く力」を養い、使命感溢れるリーダーとして、主体的、能動的に未来を開き、社会に貢献できる人材の育成に努めております。



沿革

昭和39年、学校法人桐蔭学園が設立され、同年に高等学校の設立が認可された。同40年には中学校が、翌41年には小学部の設立が認可、その後も幼稚園、大学、中等教育学校が設立され、幼稚園から大学院に至る本格的な総合学園として確立された。

2017年度募集要項

募集人員：【第1回】男女約95人（男女比なし）
【第2回】約15人

出願期間：

【第1回】10月1日～10月16日

【第2回】10月22日～11月14日

出願手続き：インターネット出願のみ

受験料：25,000円

試験日：【第1回】10月19日

【第2回】11月16日

選考内容：知能テスト、集団観察テスト、面接テスト

合格発表：【第1回】10月20日

【第2回】11月16日

【かかる費用】

入学金：310,000円

授業料：612,000円

初年度納入金合計：1,509,600円

併設中学進学状況

◆桐蔭学園中学校（男子55人、女子36人）

※原則として希望者全員が進学可能

◆桐蔭学園中等教育学校（男子47人）

※成績等が基準に達した者は全員が進学可能

データパック

児童数861人／教員数61人（3月1日現在）

16年度応募者数：男子185人、女子89人

合格者数：男子98人、女子36人

【併設校】

○桐蔭学園幼稚園

○桐蔭学園中学校・高等学校

○桐蔭学園中等教育学校

○桐蔭横浜大学